



第6回

プログラムの分割(4.1～4.6)

AJ科 宮川 治

概要1

- プログラムの分割
 - 複数の(振る舞い)メソッドの宣言
 - エントリーポイントの確認
 - mainから実行
 - paint

概要2

■ クラスの宣言

- クラス名はアッパーキャメルケースを使用する
 - アッパーキャメルケース: 複合語の先頭を、大文字で書き始める。

■ 振る舞いの(メソッド)の宣言

- 振る舞い名はキャメルケースを使用する。
 - キャメルケース: 複合語の先頭を、小文字で書き始める。単にキャメルケースと言えば先頭は小文字。
- **アンダーライン**がある場合はstatic

概要3

■ クラス図

○ 一段目

- クラス名: アッパーキャメルケース

○ 二段目

- この授業では使用しません

○ 三段目

- 振る舞い(メソッド)名: キャメルケース
- クラス図ではアンダーラインを引く

設問

- クラスのキャメルケースの判断
- 振る舞いのキャメルケースの判断
- インデントミスの弁別
- クラス図の間
 - クラス図からプログラム
 - プログラムからクラス図